

市指定史跡

富野遺跡

石垣市指定史跡 富野遺跡の概要

富野遺跡は、石垣市椋海にある富野小学校の北西側（牧場内）にあります。海岸から緩やかに立ち上がる石灰岩上に立地し、屋敷囲いの石垣が見られます。

テラス状に平らになった部分もありますが、石灰岩崖の周囲にはいくつかのフィッシャー（裂け目）やノッチなどの浸食によるくぼみがあり、そこにも多くの遺物を含んだ層が堆積しています。

遺跡からは、中国産陶磁器のほか、地元で焼かれた中森式土器も出土しています。ほかに、鉄鍋片の出土もあり、中森式土器の器形変化を推察するうえで、重要な資料となっています。

屋敷囲いの石積みを持つ遺跡は石垣島にも複数ありますが、良好な状態で残り、また、多くの遺物が見つかったこと、かつ、石垣市の北海岸に面した場所で、これほどの遺構・遺物が残されていることは貴重であることから、2007（平成19）年3月23日に、石垣市指定史跡となりました。



富野遺跡に残る石積み



富野遺跡出土の中森式土器



富野遺跡出土の鉄鍋片



見学を希望される前に・・・

富野遺跡は、個人有地の牧場の奥（西側）に位置し、簡単に出入りすることはできません。

また、海側からも砂浜が部分的にしかないので、アクセスしづらい場所となっております。

これらのことから、文化財であることを示す標柱等はありませんが、富野小学校の裏手（牧場入口の柵あたり）から、遺跡がある石灰岩台地の場所を確認することができます。